

ニュースレター No. 43 ハーモニー・ライフ 平成22年4月27日発行

総会のお知らせ

新年度の総会を下記のように開催いたします。総会に引き続き、手術後の生活などに関するQ&Aの時間を設けています。皆様お誘い合せの上、ご参加ください。

記

日 時：平成22年5月16日（日）

総会 午前12時30分～

議題：平成21年度事業報告、収支決算報告、
平成22年度役員選出、事業案、予算案、ハンドブックの作成ほか

Q&A手術後の生活 13時～

講師：埼玉医科大学総合医療センター消化器一般外科 岩間毅夫先生
排便のコントロールと対策（骨盤底筋運動の紹介等） 武田祐子

親睦会 ～午後3時30分

参加費 500円（軽食・茶菓を準備します）

場所：慶應義塾大学信濃町キャンパス孝養舎（看護医療学部）2階
マルチメディアカンファレンスルーム

〒160-8582東京都新宿区信濃町35慶應義塾大学看護医療学部

<http://www.sc.keio.ac.jp/access.html>（地図をご参照ください。）

尚、会員の方には返信封筒を同封しておりますので別紙にてご返信下さい。
会員外で総会、親睦会にご出席の方は事前連絡の必要はございません。

連絡・問い合わせ先：メール：takeday@sfc.keio.ac.jp(武田) TEL03-5363-2064

2010年度ミニ集会の予定

【昼の部】

7月11日（日）13-15時

【夜の部】

6月18日（金）18-20時

（場所は慶應大学信濃町キャンパスを予定しています。日程等については変更する場合がありますのでご注意ください）

9月以降については、BBQの開催月が決定後に調整します。9月末～10月で会場を確保できるように頑張ります。

茶話会の報告

代表 小林容子

2月・3月の茶話会で話されたこと二回分をまとめて報告します。

信濃町の慶応病院での2回目、2月28日は昼の会でした。やはり慣れるまでは会場探しに戸惑う大きな建物に囲まれている環境です。今回は約20名の参加で、広めの会議室を用意していただきゆったりと、お話しができました。

当日参加なので、毎回話題は決まっていのですが、持ち寄られた悩みが共通することがあります。今回も偶然ですが、三組の方が同じような相談を持ってこられました。

まだ子供が未成年の場合に、病気の話しをいつするか。恐怖を与えるなら手術の時まで控えたい。それぞれの家庭で事情も違うので、参考になる程度の経験が話されました。

子供の年齢にもよるでしょうが、10歳未満なら検査の必要性くらいでしょうか。大人でもきつい検査なので下剤の飲み方から、検査中の苦痛の軽減まで医師に相談されたら良いと思います。検査を続けることが他の病気の予防に繋がるので、守りたいことです。最近のケースでは大腸のポリープを取りつづけていたのに、膵臓に癌がみつかって手遅れになったかたがいます。大腸の次に、胃の内視鏡検査もお勧めします。

杏雲堂病院から離れて、病院を探しているかたも居られるとおもいます。もちろん岩間先生がおられる埼玉医大に行かれるのが安心ですが、地理的に無理なかたもいるでしょう。ホームページに載せて参考にしていただけるように、病気について相談できる病院・医師リストを岩間先生のご協力で作りました。また近くで病院の情報があれば、事務局に送っていただければ幸いです。

ニューズレターでお知らせしましたが、3

月12日夜の会には、新聞取材の記者の方が同席されました。残念なことに参加者は役員だけで、久しぶりの豪華な？役員会になってしまいました。次年度の総会では、念願のハンドブックを公開できるように進めることになりました。初回を形作り、積み重ねて冊子にできればと思っています。普段の茶話会では、役員の話しは特にでないのですが、記者さんの聞き取りに協力するかたちでいろいろ話せました。若い役員の方たちも新しい風を吹き込んでくれています。会の今後に期待してください。患者会の役員を受けることにボランティアの意識よりは、病気になったことで支えてくれた人への恩返しの気持ちが強いことです。病気の不安のなかで、出会って話すことで気持ちが明るくなって日常に戻れることは、患者会の基本です。昔の話しになり、自己紹介のとき初めてわかってもらえた感動で、涙をこらえるのが大変だったことが共通の体験でした。

私ごとですが検査を怠らないで、平均寿命まで生きられることが、去年還暦を迎えた私の次の目標です。手術した頃は、60歳まで生きられるとは思えませんでした。会員の中には勿論もっと高齢で元気な方もおられます。心強いことです。ただ注意しなければいけないのは、受験、結婚、転勤など、節目の時に、つい検査の機会を逃してしまいがちなことです。検査は定期的に受けたと思います。

尚、新聞掲載されることで会員以外の方の目に触れ、治療の手助けになること、多くの人に病気を理解してもらえることを、記者の方にはお願いしました。



取材のご報告 3月24日掲載されました。

新聞社から取材協力の依頼があり、その経過については前回のニュースレターでお知らせしましたが、3月12日のミニ集会は、小林さんの報告にあるような状況で行われました。

取材記事は、3月24日の読売新聞に掲載されましたが、その内容がホームページでもご覧になれます。<http://www.yomidr.yomiuri.co.jp/page.jsp?id=22471>

取材をされた記者の方からは、下記のようなお便りを頂きました。

先日は取材に快く応じて下さり誠にありがとうございました。

皆様のお話を聞き、遺伝性腫瘍を持つことの不安と情報の大切さがよくわかりました。やはり、正しい知識や情報がなければ、必要以上に不安が増してしまうものですね。

皆様の活動に意義が少しでも読者に伝わればと思っております。ヨミドクターの「情報プラス」には、まだいくらでも追加できます。こういう情報も入れてほしいというリクエストがあれば教えて下さい。本当にありがとうございました。



会費納入について

会費の納入方法が銀行の振込になりました。必ず会員の方のお名前を明記してください。

「ハーモニー・ライフ」では、随時会員の入会を受け付けております。入会申込書にご記入いただき事務局にお送り下さい。同時に年会費（2000円）を振り込んで下さい。会費の納入が確認でき次第、会員として登録させていただきます。入会を希望される方がいらっしゃれば、是非ご紹介下さい。ご不明な点については、事務局に文書でお問い合わせ下さい。

<年会費の振込先>

りそな銀行 横浜支店 普通1594211
名義：ハーモニーライフ タケダユウコ

編集後記：新聞の取材やハンドブックの作成は、少しでも多くの方に情報が届くように考えて、活動をしています。会の活動から発信できるものはまだまだあると思います。その一つとして、病院情報があります。御自身の診療されている病院をご紹介いただければ、「会員が受診している病院」として、HPに掲載します。皆様のご協力をよろしくお願い致します。

記録・広報係：武田祐子

慶應義塾大学看護医療学部

E-mail: takeday@sfc.keio.ac.jp

〒160-8582東京都新宿区信濃町35

TEL 03-5363-206